

研修 だより

糸島市立一貴山小学校
平成27年7月15日（水）
学力アップ部

3年1組の子どもたち、中村先生ありがとうございました！！

【単元名】 『地域のお年寄りのことを知り、仲良くなろう。』

【～ふるさとへの興味・関心を高め、ふるさとへの愛と誇りをもった児童の育成～】

【本時の目標】

- お年寄りとの交流に関心をもち、仲良くなりたいという思いをもって意欲的に遊びの内容を交流することができる。（主体的創造的な態度）
- これまでの体験を基に、お年寄りともっと仲良くするにはどうすればよいかを考え、交流することができる。〔学び方やものの考え方〕
- お年寄りとの交流会をもっと良い物にする方法を考え、積極的に発言することができる。（問題解決能力）

【本時の展開】

1 これまでの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。

(1) 1回目の交流会を振り返り、めあてを確認する。

- ・自分たちが調べた遊びをもとに、お年寄りの方に喜んでもらえるような活動を考えよう。

めあて

お年寄りの方にもっと楽しんでもらえる交流会の計画を立てよう。



2 自分がふれ合うお年寄りがもっと喜ぶような計画を考える。

(1) 前時の調べた内容をもとに、2回目の交流会の遊びの内容やルールなどについての改善点を話し合う。

- ・GTのお話を聞いて、感じたことや思ったことを発表させる。
- ・GTの方からもらったアドバイスを基に、内容を改善させる。



(2) 話し合った内容をGTの方に知らせ、お年寄りの方がもっと楽しむ活動になるように計画する。

3 本時の振り返りと次時の見通しを立てる。

(1) 自分たちのグループが考えた遊びの改善点や工夫点を交流する。

- ・外遊びはお年寄りができるようなグランドゴルフに変えよう。
- ・室内遊びを中心にすれば良いと思うよ。
- ・お年寄りに分かりやすいルールや掲示物を作ろう



（中村先生の自評）

本時の目標について

- ・目標①の達成状況は6割程度
- ・目標②の達成状況は6割程度
- ・目標③の達成状況は5割程度

目標を達成するための手立て

- ・GTのお話を聞いて、感じたことや思ったことを発表させる。
- ・GTの方からもらったアドバイスを基に、内容を改善させる。

○2回目の交流を成功させるために、自分たちが考えた内容とアドバイスを生かそうと積極的に質問していた。

●何をどのように質問すればよいか分からない児童がいた。質問の仕方や聞き方等の事前の指導やカード等をもたせる支援が必要であった。



【協議会で話し合ったこと】

○総合では何を学ばせたいのかを明確にしていく必要がある。（単元のゴールを大切に）

○課題をどうつかませて、どのように主体的に取り組ませるのか

○子どもたちがお年寄りのことを考えて、遊びを発信するという発想がよかった。

○お年寄りの方と交流することはよかった。

○今回の提案授業で生活科の充実が必要（お年寄りの方との交流が少ない）

○交流させるときはGTとの打ち合わせが大切。いつ、どのような打ち合わせをしたのかのデータ化し、共有していきたい。

○総合的な学習の時間は、学び方が大切である。（課題の設定→情報収集→整理・分析→まとめ）

○交流会で、質問する視点を与えることでより思考が活発化すると思われる。

EX お年寄りの体のこと、思考、子どもへの願い等

東風小学校主幹教諭 原尾宏志先生からのご助言・ご指導

授業に関して

○交流しているときに、試しの活動をしながらか交流できていたので子どもたちの実感がわいていた。

○子どもたちの交流を活発にするために、子どもたちが考えた遊びがお年寄りにとって楽しめるものであるかをGTに尋ねていた。

○既習を振り返らせる活動があることで、今までの学習のことを想起しながら吟味する場があった。

●課題への出会わせ方を大切にしてほしい。（あのおじいちゃん、おばあちゃんのために・・・という課題意識）

「やらされ感」をもたせるのではなく、これまでの自分の考えとの「ズレ」「隔たり」を感じさせること、つまり切実感のある課題をもたせること。

●何に気づかせたいかを明確にする必要がある。この学習を通して最終的に目指すもの・子どもに身に付けさせたい資質・能力等を考えて単元を構成していく。教師は指導事項を読み込んでおくこと。

中村先生お疲れ様でした☆

ふるさと学習の提案授業を快く引き受けてくださった中村先生。土台から作り上げてとても大変だったことと思います。今回の提案授業から、見えてきた「課題のつかませ方」「交流のさせ方」「生活科との接続」を意識しながら、先生方が1年間、単元を考えられることと思います。特に原尾先生のご助言にもありましたが大切なキーワードは「協同的な学習」です。中村先生は、今回の授業で子どもたちをグループ別に分けてありました。多様な社会において人間関係を形成したり調整したりしながら問題解決を進める力が求められているそうです。協同学習を進めることで多様な情報が入り、多様な視点になります。是非、他教科でも取り入れていきたいですね。中村先生本当にありがとうございました。

総合的な学習の一書山の宝となりました。